

## 日弁連の裁判員制度への取組状況

### 1 現状の裁判員裁判に対する感想

- (1) 比較的順調に審理が進められていること
  - 法曹三者及び裁判員・裁判員候補者の真摯な取組
- (2) 裁判員の積極的な記者会見での意見表明がなされていること
  - 市民の健全な感覚が裁判に反映されているとの実感
- (3) 弁護人の法廷活動に対する厳しい批判を真摯に受け止めるべきこと
  - さらなる態勢づくりと研修が必要

### 2 裁判員裁判に関する日弁連の最近の取組状況

- (1) 全国キャラバン方式の研修と各種のサテライト研修
  - 法廷弁護技術、弁護戦略、精神医学・法医学などの知識修得
- (2) 全国的な経験交流
  - 弁護人からのアンケート、判決書収集
  - 経験交流会の開催（量刑傾向、手続、責任能力、死刑求刑など）
- (3) 広報
  - ホームページ更新、パンフレット改訂、裁判員経験者交流会

### 3 裁判員制度に関する日弁連での検討状況

- (1) プロジェクトチームによる論点整理
- (2) 3年後検証小委員会の設置と検討
  - 守秘義務 証拠開示手続 有罪判決、死刑判決などの評決要件など
- (3) 2012年3月に日弁連意見書策定を目標